

Mémoires 2014

皐月賞

第74回皐月賞(G I)優勝馬 イスラボニータ



抜群のセンスで課題をクリア

イスラボニータ

Isla Bonita

安定感ある走りの弥生賞馬トウザワールド。天才肌のきさらぎ賞勝ち馬トーセンスターダム。破壊力抜群の末脚を持つワンアンドオンリー。どの馬が皐月賞馬になんでもおかしくない群雄割拠の好メンバーの中、本来なら頭ひとつ抜けた人気に推されてもいい実績を持っていたのがイスラボニータだった。

ここまで5戦4勝、敗れたのはハープスターの2着だった新潟2歳Sのみ。東京スポーツ杯2歳S、共同通信杯と重賞連勝中で、特に前者は日本レコードの快走だった。にもかかわらず2番人気にとどまったのには、それなりの理由があった。5月の誕生馬。中山はおろか右回りコース未経験。距離も1800mまでしか走ったことがない。共同通信杯以来、約2か月ぶりの実戦というローテーションからは過去に1頭しか勝ち馬が出ていなかった。そして何より、父フジキセキはそのマイラー寄りの適性もあり、産駒がクラシックを勝ったことがなかった。

しかしそれらの懸念はすべて、中団の外を追走していたイスラボニータが最後の直線でスパートをかけた瞬間に吹っ飛んでいた。好位から抜け出しにかかるトウザワールドに、あっという間に馬体を併せ、前に出る。内で逃げ粘るウインフルブルームも抵抗できない。後方から飛んできたワンアンドオンリーも届かない。類い稀なレースセンスと、天性の柔らかな身体から繰り出される伸びやかな末脚が、コースや距離の経験も、ローテーションも、血の宿命さえも乗り越えてみせたのだった。

蛯名正義騎手は牡馬クラシック2勝目で、皐月賞は初制覇。栗田博憲調教師はシンコウフォレストの高松宮記念以来、16年ぶりのG I制覇だった。そして先述の通り、フジキセキはこれが産駒初のクラシック制覇。体調不良で2011年から種付けを中止していたが、結果的に現存する最後の世代で悲願を達成するという、稀代の名種牡馬にふさわしいドラマチックな結末となった。



第74回皐月賞(G I)

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	イスラボニータ	牡3	57	蛯名正義	栗田博憲	1:59.6	②	8 8 7 4
2	トウザワールド	牡3	57	川田将雅	池江泰寿	1 1/4	①	3 3 3 3
3	ウインフルブルーム	牡3	57	柴田大知	宮本一博	1/2	⑧	1 1 1 1
4	ワンアンドオンリー	牡3	57	横山典弘	橋口弘次郎	アタマ	④	16 18 7 2
5	ステファノス	牡3	57	後藤浩輝	藤原英昭	1/2	⑯	1 1 1 10 8
6	アジアエクスプレス	牡3	57	戸崎圭太	手冢貴久	ハナ	⑤	2 2 2 2
7	ベルキャニオン	牡3	57	福永祐一	堀宣行	3/4	⑯	15 15 7 6
8	クラリティシナー	牡3	57	内田博幸	上原博之	ハナ	⑩	1 1 2 10 12
9	アドマイヤデウス	牡3	57	岩田康誠	橋田 満	3/4	⑦	10 9 7 8
10	ロサギサンティア	牡3	57	柴田善臣	藤沢和雄	アタマ	⑥	9 9 10 8
11	トーセンスターダム	牡3	57	武 豊	池江泰寿	クビ	③	5 5 5 7
12	パウンドシャッセ	牝3	55	北村宏司	藤沢和雄	同着	⑫	3 3 3 4
13	コウエイマンマン	牡3	57	松岡正海	川村禎彦	1 1/4	⑯	17 17 4 6
14	スズカディヴィアス	牡3	57	A.シユタルケ	橋田 満	ハナ	⑭	14 12 4 4
15	キングズオブササン	牡3	57	浜中 俊	荒川義之	2	⑪	5 5 5 4
16	アデインザライフ	牡3	57	田辺裕信	鈴木康弘	2 1/2	⑨	16 16 10 8
17	タガノグランバ	牡3	57	石橋 健	松田博資	クビ	⑯	1 1 2 4 4
18	クリノカンパニー	牡3	57	江田照男	荒川義之	大差	⑰	5 5 7 6

単勝①510円 復勝②190円 ⑦150円 ⑩470円 枝連(1-8)330円
馬連②-⑦920円 馬單②-⑦1,900円 ワイド②-⑦390円 ②-⑩1,990円 ⑦-⑩1,250円
3連複②-⑦-⑩7,690円 3連单②-⑦-⑩33,490円

ハロンタイム 12.3-11.4-11.9-11.9-12.7-12.1-12.0-11.6-11.7-12.0
通過タイム 600m 35.6-800m 47.5-1000m 1:00.2-1200m 1:12.3-1400m 1:24.3-1600m 1:35.9-1800m 1:47.6

優勝馬 イスラボニータ

2011.5.21生 父フジキセキ 母イスラコジーン 母の父Cozzene
浦河・(有)社台コーポレーション白老ファーム生産 馬主:(有)社台レースホース